



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 32 No. 2131

二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

超我の奉仕。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場/士別グランドホテル
 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
 事務所/士別グランドホテル
 TEL (0165) 23-1234

会長/汐川泰晴
 副会長/織戸俊二
 幹事/川原一夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

第2208回例会 2006年3月27日(月)

今日のプログラム

・夜間例会 (士別ロータリー創立記念日例会)

■前回(3月20日)の記録■

・普通例会・会員卓話

司会 藤吉敏博会場監督

斉唱 我等の生業

本日の出席 出席率75.38% 会員65人中 出席者49人

本日の欠席 阿達 勇、扇谷雅樹、加藤 博、河原賢治、国森和磨、黒田康敬、渋谷知宏、柴田敏郎、佐藤元保、志村孝幸、寺下隆通、鍋島 秀、福島栄三、中川涼一、野 英俊

メイクアップ

ビクター

ゲスト

ニコニコBOX 竹内栄一(母104歳の誕生祝い)、北村浩史(娘さん大学院合格)

累計241,000円

例会予定

3月・世界ローターアクト週間

3月6日(月) 普通例会・理事会

3月13日(月) 普通例会

3月20日(月) 普通例会

3月27日(月) 夜間例会(士別ロータリー創立記念日例会)

4月・ロータリー雑誌月間

4月3日(月) 普通例会・理事会

4月10日(月) 普通例会

4月17日(月) 普通例会

4月24日(月) 夜間例会

■会務報告

汐川泰晴会長

明日は春分の日、彼岸の中日という事で春の訪れとともに、本州では桜が咲き桜前線の開花のニュースが流れて来る季節となって参りました。

当地においては、日一日と雪解けが進み穏やかな天候が続いておりますが、まだ朝夕の冷え込みがひとしお身にしみる今日今頃でございます。お身体には十分気をつけて頂きたいと思っております。

先週は、私の所用の都合により例会を欠席させて頂き、織戸副会長さんには、大変ご迷惑をおかけ致しました。お詫びとお礼申し上げます。

さて、今週の24日は、士別ロータリークラブが昭和35年3月24日に旭川西ロータリークラブをスポンサークラブとして創立総会が開かれて以来、今年で46回目を迎える「創立記念日」となります。

毎年この月の最終夜間例会は慣例となっております創立記念日を祝う特別例会日として「創立記念日に因んで」諸先輩の方にお話を頂いております。

今年もお願いを申し上げ、来週の最終夜間例会27日は昭和63年8月、当地で開催されましたRI第250地区「第9回ライラセミナー」のホストクラブ実行委員会責任者としてライラ実行委員長を務められた西條輝光会員より、当時のライラセミナーの思い出、ご苦労話などをお聞かせ願う事になっております。

当クラブの永き、良き伝統の歩みを振り返りながら、今日の基礎を築いていただいた歴代諸先輩を始め、会員各位のたゆまぬ努力に敬意と感謝を称え、新たな士別ロータリークラブの歩みを目指す有意義な例会となります様ご期待を申し上げます。

■幹事報告

川原一夫幹事

1) 国際ロータリー第2500地区ガバナー事務所、オン・ツー・コペンハーゲン委員長、家内裕典氏より「2006年年次国際大会参加ツアー」が3月15日現在最少催行人員に達していない状態なので、参加申し込みを3月22日まで延長して募集するので、ぜひ参加していただきたいとの事です。参加意向の方がいましたら、私までお申し付けください。

2) ガバナー事務所より、ロータリー財団寄付の2006年3月11日現在の個人の明細が届いております。

3) ガバナー月信5月号企画のロータリアンの宿・ロータリアンのお店取材要請がきています。地区ロータリアンのお店をすべて紹介する企画となっております。ご協力いただきますようお願い致します。詳細につきましては、各テーブルに配布してありますのでご覧ください。

4) 5月14日美深で開催されますインターシティーミーティングの案内が来ております。各テーブルに登録受付を配布してございますので多数の皆様の登録をよろしくお願いいたします。登録料につきましては

会より3000円負担しますので、個人負担は5000円となっております。よろしくお願いいたします。

■次年度理事及び委員長予定者会議について

菊地 博 次年度幹事

4月5日(水)午後6時から当会場において、次年度理事及び委員長予定者会議ということで、パワーアップ会議を開催いたします。会議内容については、大塚次年度会長予定者から若干の考え方、さらには先般、紋別で行われた地区ガバナーのとらえ方を含めて、千葉分区代理からアドバイスをいただきながら、それぞれの事業計画の立案などの勉強会も兼ねて、行いたいと思っております。ご出席、よろしくお願いいたします。

■会員卓話「最近の出版・書店業界について」

尾崎 学会員

ここ10年で出版業界は全体で約15%の売上減と聞いています。平成10年には約2兆6千億円の出版物が出ていましたが、16年には約2兆3400億円、約10%の出版、書籍の売上減となっています。

大きく分けますと雑誌と書籍ですが、特に雑誌の売り上げが大きく、約6割を占めています。4割が書籍です。10年から16年の間に雑誌は約2300億円落ちています。減少分のほとんどは雑誌です。本が売れないので、広告とかも入らず、日本経済がいかに落ち込んでいたかということではないでしょうか。

書店の数も平成14年には全国で約2万店あったのが、17年度現在では約1万7800店、約3年間で書店が約2200店なくなっています。

一方、売り場面積は平成14年には124万8000坪が17年には131万坪にもなり、逆に広がっています。つまり書店が大型化しているということです。

道内では860店ありますが、14年と比べると約3年間で約70店ほど減っています。逆に売り場面積は6400坪も増えています。

地方では本屋がなくなってくるという状況です。コンビニや中古書店の進出で、出版社が本の出版を抑えている。作ってもそういうところに流れたり、本の流通がうまくいかないというような状態もあります。

大型チェーン店や複合店もできています。

万引きも大きな問題です。

読書離れも進んでいます。

親が子どもの時に読んだ本を、今子どもに読ませることによって、子どもの感性で親子の会話ができるのではないかと思います。

士別で40数年本屋をやってきましたが、士別も大きく変わりました。

人口は減っても商売を通して少しでも地域の皆様にサービスしていきたいと思うので、これからもよろしくお願いいたします。